

平成 22 年度食品安全モニター会議について

1 開催趣旨

平成 22 年度食品安全モニター会議は、食品安全モニターの方々に、食品安全モニターの活動内容や食品安全委員会の取組、食品健康影響評価の実際などについて、説明や講演、質疑することにより、知識や理解を深めていただくために開催した。

また、食品の安全性について、食品安全モニター、事務局及びリスク管理機関が意見交換を行い、食品安全モニターとしての意識の向上を図った。

2 開催状況

平成 22 年 5 月から 6 月にかけて、全国 7 都市において計 10 回開催し、合計 341 名の食品安全モニターが参加した。

開催日 開催場所	モニター出席者		出席委員	説明委員
	対象地域	人数		
5 月 21 日 (金) 東京都 (東京 1)	東京都、山梨県、長野県	35 人	小泉 直子 委員長 他 委員 4 名	長尾 拓 委員
5 月 24 日 (月) 東京都 (東京 2)	千葉県、埼玉県、新潟県	39 人	小泉 直子 委員長 他 委員 5 名	野村 一正 委員
5 月 25 日 (火) 東京都 (東京 3)	茨城県、栃木県、群馬県、 神奈川県	43 人	小泉 直子 委員長 他 委員 4 名	小泉 直子 委員長
6 月 1 日 (火) 千歳市	北海道	13 人	村田 容常 委員	村田 容常 委員
6 月 2 日 (水) 仙台市	青森県、岩手県、宮城県、 秋田県、山形県、福島県	32 人	長尾 拓 委員	長尾 拓 委員
6 月 15 日 (火) 福岡市	福岡県、佐賀県、長崎県、 熊本県、大分県、宮崎県、 鹿児島県、沖縄県	38 人	見上 彪 委員	見上 彪 委員
6 月 16 日 (水) 岡山市	鳥取県、島根県、岡山県、 広島県、山口県、徳島県、 香川県、愛媛県、高知県	37 人	見上 彪 委員	見上 彪 委員
6 月 22 日 (火) 名古屋市	岐阜県、静岡県、愛知県、 三重県	35 人	小泉 直子 委員長	小泉 直子 委員長
6 月 23 日 (水) 大阪市 (大阪 1)	大阪府、兵庫県	40 人	廣瀬 雅雄 委員	廣瀬 雅雄 委員
6 月 23 日 (水) 大阪市 (大阪 2)	富山県、石川県、福井県、 滋賀県、京都府、奈良県、 和歌山県	29 人	廣瀬 雅雄 委員	廣瀬 雅雄 委員

3 会議概要

会議は、大きく3部構成で行い、第1部では、事務局から食品の安全性と信頼性確保について、続いて食品安全委員会委員からリスク評価の考え方と実際について説明を行った。第2部では、事務局から食品安全モニターの活動について説明を行った後、第1部と第2部で提供された話題等について、食品安全委員会委員等とモニターとの間で意見交換を行った（別紙1）。意見交換の冒頭では、消費者庁の担当者から、消費者庁の組織及び食品表示の現状について、簡単な説明が行われた。最後に、第3部として、食品安全モニターを10名程度のグループに分け、各グループに配置したファシリテーターによる進行のもと、意見交換等を行った。

会議には、厚生労働省、農林水産省、消費者庁の担当者も出席し、リスク管理施策を含む幅広い観点からの意見交換を行った。

また、今後の会議等の運営にあたっての参考とするため、会議終了後にアンケート調査を行った（別紙2）。

〈参考〉

議事次第

1 開会

第1部〈1時間〉

2 食品のリスク分析と食品安全委員会の取組について

① リスク分析と食品安全委員会について

② 食品健康影響評価の実際

休憩

第2部〈50分〉

3 食品安全モニターの活動について

4 意見交換・質疑等

第3部〈1時間〉

5 食品安全モニターの交流について

6 閉会

＜食品安全モニターからの主な意見等(抜粋)＞

意見交換の際のモニターからの主な意見等は、以下のとおり。

1) 食品安全行政全般

- ・ 食品の安全性について、消費者が出向いて問い合わせをしたり、聞いたりする場合、区役所や消費生活センターが大半だと思う。保健所は、各地で統合されつつあり、消費者にとっては駆け込み寺になりえないのではないか。窓口を広げてほしい。
- ・ 「リスク」という言葉がよく出てくるが、カタカナ語で日本人にはなじみがない。「危険」「危害」ということなのか。「ハザード」は「危害要因」なのか。リスク分析は3つの要素からなっているとのことだが、ほかの人に説明するのはとても難しい。もっとわかりやすい言葉に置き換えてほしい。

2) 食品安全モニター活動

- ・ モニター制度のできた時期と経緯を知りたい。また、モニターの活動がどのような成果に繋がりに役立っているのか、フィードバックしてほしい。
- ・ モニターには地域への橋渡し役としての役割があるが、法的な権限はない。地方行政と連携して、モニターの情報提供活動の機会（仕組み）を作してほしい。
- ・ 危害情報の例を具体的に挙げてほしい。モニターとして危害情報の持つて行く場所がよくわからない。ダイヤルに電話するのか、それとも保健所か。

3) リスク管理措置

- ・ 昔は肉骨粉として牛の全身が使われていた。現在は牛の餌にはしないという事だが、畑に肥料として撒かれたり、畑に放置して家畜以外の動物が食べたりしないかと心配である。現在肉骨粉を製造しているメーカーへの指導はどうなっているか。
- ・ 食品安全基本法が施行され「消費者」「事業者」等の役割が定義されているが、食品の安全確保対策にはやはりコストがかかる。今後ますます重要性が増す流通・加工段階に対して、GAP・HACCP等の積極的な取組などリスク管理機関からのアプローチが必要なのではないか。

4) リスクコミュニケーション

- ・ 科学的知見について少しは理解したつもりだが、安全と安心の壁を感じている。頭では安全だとわかっている、安心と感じられない。アドバイスがほしい。
- ・ 「安全なものはない」という言い方は、消費者の不安を煽るのではないかと違和感がある。すべての食品を調査しないうちは「安全」とは言い切れないということか、とも取れる。別の言い方はないか。
- ・ 残留農薬のイメージは悪いが、医薬品についてのイメージはこうはならない。これらの誤解したイメージを払拭する役割はどこが担うのか。消費者に安心を与えるために具体的にどのような施策をとっているのか、また、どうしていこうとお考えか。
- ・ 食品安全委員会では、あくまでも中立公正な立場でリスク評価をしているが、BSEの全頭検

査が続き、食品安全委員会の評価と実際の施策がマッチしていない。研究者はよく「消費者がわかってくれない」旨のことを言われるが、消費者も、科学的根拠のないことは承知している。「安心」というキーワードによる国民への影響を配慮したリスクコミュニケーションが大切だと思う。

- ・ 口蹄疫のようなタイムリーな話題について、食品安全委員会がどのような対応をとっているのか、リスク管理、リスク評価、リスクコミュニケーションのプロセスについて、“今、このように動いている”ということがあまり見えてきていない。一般の人々には、もっとわかりやすく発信していければ良いと思う。
- ・ リスコミの重要性を学んだ。季刊誌は学校の栄養教諭の先生に分けている。フードファディズム等をはじめとして、消費者としての教育が大切だと思う。義務教育課程にもっと食育や消費者教育を入れ込むことはできないのかと考える。
- ・ 遺伝子組換え食品（GMO）は、世界的にも耕作面積が増えているが、日本でも増えてくるとを想定すると、子供たちにはGMOをどのように教えていったらよいか。教材があればよいと思う。
- ・ 食品に対して、一般消費者は、自分で防御するということが薄れていると思う。生鮮野菜がカット野菜やサラダとしてカップに入って売られており、簡単に手に入れることができるという昨今の状況が要因になっているのではないかと思っている。消費者自身も家庭の調理で、残留農薬を十分減らすことができることをアピールする必要性があると思う。
- ・ 外国産の食品が巷に多く流通しているが、すべてが水際で調べられているわけではなく、輸入業者や食品事業者はコストをかけても農薬の使用状況などをトレースしきれていないところもあると思う。消費者は食品に対して受身でいることが多いが、そのよう状況で、食品製造業者や流通業者に対するリスクコミュニケーションはどのように行っているのか、また、強化していくのか。
- ・ 自分は、業界の勉強会にマスコミを呼んで、ひざをまじえて語ることもした。報道の自由もあるが、事実誤認のあまりにもひどい報道が目立つ。「信頼のおける情報源」として、行政は報道関係・出版関係とのコミュニケーションにつとめ、正確適正な情報を提供してほしい。
- ・ リスクコミュニケーションについては、食品安全委員会からプレスリリースを出すなどリーダーシップをとるのが良いと思う。役割分担はわかるが、「縦割り」に見える。また、情報が出てくるのに伝わらないということも課題であり、わかりやすく伝える手法についても検討してほしい。
- ・ 科学的知識がない一般の人は、「安全」について理解できない。「安全」はまさに専門家がすべきで、モニターは消費者に直結している「安心」について議論すべきではないか。モニター制度も消費者庁がやったらどうか。消費者が様々なチャンネルで情報に関わるのはいいと思うので、食品安全委員会がリスコミをやるべきではないと言うのではない。

5) リスク評価

- ・ ある専門雑誌に大学の先生がキャノーラ油を例に、「食経験のあるなしで安全性を判断することには落とし穴があるのではないか」と書かれていた。ヒジキの安全性の問題等も含め、食経験に基づく安全性の判断についてはどのように考えるか。
- ・ 農薬の自然環境への影響については考慮されているのか。また、色々な農薬が複合した場合の人へ

の影響についてはどのように考えるのか。耐性菌の影響について教えてほしい。

- 放射線照射食品について、国内ではジャガイモの発芽防止に放射線照射が行われているが、ある団体が、放射線照射によってある物質（アルキルシクロブタノン類）ができるから販売はけしからんというような申し出をある生協に行い、生協は販売を自粛したという話を聞いた。海外からは、放射線照射された香辛料が入ってきている。食品安全委員会で、自ら評価で放射線照射食品をリスク評価してほしい。
- カンピロバクターの健康影響評価については、リスクについて、数値で表現されており、良かったと思う。もう少し統計的なものの見方を啓蒙していくことも必要と思う。
- アメリカではBSEよりもむしろトランス脂肪酸を敵害視している。日本の平均摂取のレベルは低いと聞いたが、若い人など偏りのある食事を取っている人もいる。日本では一切ディスカッションされていないのだろうか心配である。
- アレルギー物質がどのぐらいの濃度でどのぐらいの被害があるかをリスク評価する予定はあるか。乳や卵白などのアレルギー表示について、食品にどのぐらいの程度含有していたら表示義務があるか。以前厚生労働省のQ&Aで数ppmという数値があったような記憶があるのだが、実際に食品にアレルギー表示をする義務が生じる数値について教えてほしい。検査装置で検出されたら表示義務があるのか。

〈平成22年度食品安全モニター会議アンケート結果（抜粋）〉回答者数334名

会議全体	
満足	17.1%
だいたい満足	57.5%
どちらでもない	9.0%
やや不満	1.8%
不満	0.0%
無回答	14.7%

	リスク分析と食品安全委員会について(第1部)	食品健康影響評価の実際(第1部)	食品安全モニターの交流について(第3部)
非常に参考になった	34.4%	35.0%	35.6%
ある程度参考になった	62.0%	57.2%	54.2%
あまり参考にならなかった	2.1%	4.8%	4.2%
全く参考にならなかった	0.3%	0.0%	0.3%
無回答	1.2%	3.0%	5.7%

平成22年度食品安全モニター会議アンケート結果

会議概要

会場名	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	計
開催日	H22.5.21	H22.5.24	H22.5.25	H22.6.1	H22.6.2	H22.6.15	H22.6.16	H22.6.22	H22.6.23	H22.6.23	
対象モニター居住都道府県	東京都、長野県、山梨県	埼玉県、千葉県、新潟県	茨城県、栃木県、群馬県、神奈川県	北海道	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	大阪府、兵庫県	滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、富山県、石川県、福井県	
出席者数(人)	35	39	43	13	32	38	37	35	40	29	341
アンケート回収数(枚)	32	39	43	13	32	36	37	33	40	29	334
回収率	91.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	94.3%	100.0%	100.0%	97.9%

問1 職務経歴	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
食品関係業務経験者	40.6%	43.6%	39.5%	15.4%	43.8%	33.3%	40.5%	51.5%	37.5%	31.0%	39.2%
食品関係研究職経験者	21.9%	10.3%	11.6%	23.1%	0.0%	2.8%	8.1%	15.2%	12.5%	6.9%	10.5%
医療・教育職経験者	9.4%	17.9%	4.7%	46.2%	15.6%	13.9%	13.5%	3.0%	12.5%	24.1%	13.8%
その他消費者一般	25.0%	20.5%	41.9%	15.4%	31.3%	36.1%	16.2%	27.3%	32.5%	24.1%	28.1%
無回答	3.1%	7.7%	2.3%	0.0%	9.4%	13.9%	21.6%	3.0%	5.0%	13.8%	8.4%

問2 モニター継続区分	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
継続	46.9%	46.2%	58.1%	38.5%	40.6%	25.0%	54.1%	42.4%	42.5%	37.9%	44.0%
新規	53.1%	51.3%	39.5%	61.5%	50.0%	69.4%	40.5%	57.6%	57.5%	55.2%	52.7%
無回答	0.0%	2.6%	2.3%	0.0%	9.4%	5.6%	5.4%	0.0%	0.0%	6.9%	3.3%

問3 全体の満足度	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
満足	15.6%	7.7%	11.6%	46.2%	15.6%	22.2%	18.9%	21.2%	20.0%	10.3%	17.1%
だいたい満足	71.9%	48.7%	60.5%	53.8%	62.5%	50.0%	56.8%	63.6%	52.5%	55.2%	57.5%
どちらでもない	0.0%	20.5%	14.0%	0.0%	3.1%	2.8%	8.1%	0.0%	12.5%	20.7%	9.0%
やや不満	0.0%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	1.8%
不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	12.5%	12.8%	14.0%	0.0%	18.8%	22.2%	16.2%	15.2%	12.5%	13.8%	14.7%

第一部 リクス分析と食品安全委員会について

問4 理解度	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
理解できた	68.8%	51.3%	51.2%	69.2%	28.1%	61.1%	59.5%	63.6%	52.5%	44.8%	54.2%
だいたい理解できた	28.1%	48.7%	46.5%	30.8%	68.8%	36.1%	35.1%	36.4%	42.5%	48.3%	42.8%
あまり理解できなかった	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%	2.5%	3.4%	1.5%
理解できなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.3%
無回答	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	2.8%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	1.2%

問5 参考度	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
非常に参考になった	40.6%	28.2%	25.6%	46.2%	31.3%	50.0%	45.9%	36.4%	25.0%	24.1%	34.4%
ある程度参考になった	53.1%	71.8%	67.4%	53.8%	65.6%	47.2%	54.1%	63.6%	65.0%	72.4%	62.0%
あまり参考にならなかった	3.1%	0.0%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	3.4%	2.1%
全く参考にならなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.3%
無回答	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	2.8%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	1.2%

問6 内容がわかりにくかった点(複数回答)	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
説明に専門用語が多かった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.6%
資料がわかりにくかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
聞き取りにくかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	3.4%	0.6%
適切な時間が確保されていなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.6%
その他	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%

問7 参考にならなかった点(複数回答)	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
すでに知っている内容がほとんどだったから	3.1%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.9%
内容が理解できなかったから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.9%

第一部 「食品健康影響評価等の実際」について

問8 理解度	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
理解できた	59.4%	38.5%	51.2%	69.2%	31.3%	50.0%	54.1%	51.5%	45.0%	34.5%	47.3%
だいたい理解できた	37.5%	61.5%	46.5%	30.8%	59.4%	44.4%	45.9%	48.5%	45.0%	58.6%	48.8%
あまり理解できなかった	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	3.4%	1.5%
理解できなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.3%
無回答	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	5.6%	0.0%	0.0%	7.5%	0.0%	2.1%

問9 参考度	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
非常に参考になった	40.6%	25.6%	34.9%	46.2%	31.3%	50.0%	37.8%	45.5%	25.0%	20.7%	35.0%
ある程度参考になった	46.9%	59.0%	60.5%	46.2%	65.6%	41.7%	59.5%	54.5%	57.5%	75.9%	57.2%
あまり参考にならなかった	3.1%	15.4%	4.7%	7.7%	0.0%	2.8%	2.7%	0.0%	7.5%	3.4%	4.8%
全く参考にならなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	5.6%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	3.0%

問10 内容がわかりにくかった点(複数回答)	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
説明に専門用語が多かった	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.9%
資料がわかりにくかった	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
聞き取りにくかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	3.4%	0.3%
適切な時間が確保されていなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.3%
その他	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.3%

問11 参考にならなかった点(複数回答)	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
すでに知っている内容がほとんどだったから	3.1%	10.3%	2.3%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	2.7%
内容が理解できなかったから	0.0%	5.1%	2.3%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	3.4%	1.8%
その他	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%

第二部 意見交換・質疑等

問12 時間配分	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
もっと短くてもよかった	3.1%	2.6%	7.0%	7.7%	0.0%	8.3%	2.7%	0.0%	7.5%	0.0%	3.9%
適当であった	71.9%	48.7%	44.2%	46.2%	53.1%	44.4%	54.1%	54.5%	72.5%	69.0%	56.0%
もっと時間が欲しかった	21.9%	48.7%	44.2%	23.1%	37.5%	27.8%	32.4%	39.4%	17.5%	24.1%	32.6%
無回答	3.1%	0.0%	4.7%	23.1%	9.4%	19.4%	10.8%	6.1%	2.5%	6.9%	7.5%

第三部 食品安全モニターの交流

問13 参考度	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
非常に参考になった	46.9%	28.2%	25.6%	23.1%	40.6%	38.9%	29.7%	33.3%	45.0%	41.4%	35.6%
ある程度参考になった	43.8%	66.7%	58.1%	61.5%	53.1%	50.0%	59.5%	60.6%	37.5%	55.2%	54.2%
あまり参考にならなかった	0.0%	5.1%	4.7%	0.0%	3.1%	2.8%	2.7%	3.0%	15.0%	0.0%	4.2%
全く参考にならなかった	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
無回答	9.4%	0.0%	9.3%	15.4%	3.1%	8.3%	8.1%	3.0%	2.5%	3.4%	5.7%

問14 参考にならなかった理由(複数回答)	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
聞き取りにくかった	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.6%
適切な時間が確保されていなかった	6.3%	5.1%	2.3%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	2.7%
その他	0.0%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	2.8%	2.7%	3.0%	7.5%	0.0%	2.4%

問15 「食品安全モニター会議参加者プロフィール一覧」(東京会場以外の設問)	東京①	東京②	東京③	千歳	仙台	福岡	岡山	名古屋	大阪①	大阪②	全体
有益と思う				53.8%	81.3%	69.4%	67.6%	72.7%	67.5%	72.4%	46.4%
有益と思わない				0.0%	3.1%	0.0%	5.4%	6.1%	7.5%	3.4%	2.7%
どちらともいえない				38.5%	15.6%	13.9%	24.3%	18.2%	22.5%	17.2%	13.2%
無回答				7.7%	0.0%	16.7%	2.7%	3.0%	2.5%	6.9%	3.6%

問 16 会議全体についての感想や御意見など（抜粋）

○ 会議の進行・運営について

【会議全般】

全般的な運営については、「大変参考になった」、「勉強になった」、「様々な意見が聞け、参考になった」などの感想が多かった。

【小グループでの交流】

「時間が短かった」という感想が多かった他、「違う仕事をしている人の意見が聞けて、とてもためになった」、「モニター間でのやりとりができて良かった」という声が多数寄せられたが、「他のグループの声が聞こえ、参加していたグループの発言者の声が聞こえにくかった」という指摘もあった。

○ 会議の日程、時間の設定について

日程や会議時間について多数寄せられた意見や要望はなかったが、「年間複数回会議を開催してほしい」といった会議回数を増やす希望の意見が多かった。

○ 会議内容について

【委員会の説明】

- ・ 安全性についての講演（安心とのちがいも含め）よく理解できました。消費者庁が加わったことによって安全委員会との境目がどのように区分されているのか、少し理解しにくいところもありました。
- ・ 今までにも、安全、安心は関心があったので、個々に勉強して来たが今回、系統的に話して貰い、非常に良かった。モニターとしての知識がブラッシュアップされた。

【食品安全モニター活動の説明】

- ・ モニターとしての役割がばくぜんとしていたが、ある程度はつきりしてきたので、出席してよかった。交流会にはもっと時間が欲しいと思った。
- ・ モニターがどんな事をするのかが良く分からなかった今日の説明で理解出来ました。
- ・ 始めたばかりで何もわかりませんでしたが、会議に出席してよくわかりました。
- ・ 実際にどのようなことをすべきかよく見えていなかった部分もあったが、少し見えてきたので有意義でした。
- ・ モニター1年目ということもあり、モニターの活動についてももう少し時間をとって説明してほしいかった。質問された方がいて、だいぶ理解できましたが、1年目だと「何が分からないかが分からない」といった状況で、質問を挙げるのも難しかったです。
- ・ モニターの位置づけ、期待される役割がまだもうひとつよくわかりませんでした。
- ・ モニターとして何が出来るのか、もう少し具体的に教えてほしいかったです。今後の予定等知りたかったです。
- ・ モニターに対する要望をはっきり提示してくれると今後の活動の助けになると思いました。
- ・ 食品安全モニターの位置づけや役割について冒頭にご説明頂ければと思いました。また、昨年度等のモニターの方の実績、昨年からの改善点についても会議の中でご報告頂ければと思いました。
- ・ はじめてのモニターでしたのでモニター活動についてももう少し詳しい話が聞けたら良かったです。

【交流について】

- ・ 食に関心のある様々な立場の人間が集まって話し合う機会は貴重であるため、今後も有意義な意見交換の場所として活用していければ良いと思いました。
- ・ グループ分けを地域ごとにしてはどうでしょうか。その後のコミュニケーション（交流）の役に立つと思います。
- ・ 食品安全モニターの交流時間について、もっと時間があればよかったと思います。どう一般の方々に伝えればよいかその点についてもっと討論できればよかったと考えます。
- ・ 委員の方と直接話が出来たことが、行政との距離が短くなった気がします。いつもは自分の意見等が届かないと思っていましたが、こういったモニターはかなり有意義であると思いました。

【時間配分】

- ・ 意見交換・質疑の時間を長く企画して欲しい。
- ・ 話をする時間が短かった。皆、意見を持っている方ばかりなので、有意義であった。
- ・ もう少しモニター間の意見交換の時間が欲しかった。
- ・ モニター交流の時間が少なかった。各県の内状を聞きたかった。
- ・ 内容がもりだくさんで、時間がきつように思いました。
- ・ 貴重な機会ですので安全委の専門家と意見交換できる時間、もうすこしとっていただきたいかったです。

【2年目のモニターからの要望】

- ・ 2年目になりますと、具体性のある内容、身近な問題等について提起していただいた方が興味関心の持てる会合になるかと思います。
- ・ 2年目ですが、昨年と重なる内容があったので、先に1年目の人を集めて、モニターについて説明した方が良いのでは、と思いました。

【その他】

- ・ 主催者の出席者一覧を配布いただければと思った。
- ・ 会議参加にあたり、モニターの皆様のご意見を事前に集めておくこともよいかと思います。（50字程度にまとめて）
- ・ 事前に質問を提出、それに加え、当日の内容について質問してはいかがでしょうか？
意見交換、質疑等は、事前に意見・質疑のある方は提出しておいて、一部文面等で回答できるものは回答すると、よりたくさんの方の質疑に対応できるかもしれないと思いました。
- ・ ”食品安全モニターの活動について”、”地域への情報提供”に、”地域での日常生活を通じた情報の提供やその普及に御協力を頂きます”とあります。前にも会議や報告書で具申しましたが、具体的な地域の行政機関を紹介・仲介をして頂きたい。